

# スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想って何だ？

豊かな自然と<sup>うるわ</sup>令しく調和する次世代型近未来都市

📠みらい政策課 995-1804

人口減少時代に突入する中、市では、Society5.0やウーブン・シティといった新しい時代の流れを力にしたまちづくりを行うため、「デジタル」と「クリエイティブ」という2つの言葉をキーワードに、豊かな自然と令(うるわ)しく調和する次世代型近未来都市の実現に向けて、スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想の具現化を進めています。

※Society5.0：仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムによって、経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会



出典：トヨタ自動車株式会社資料

## SDCC構想

市では令和2年3月に「スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ（SDCC）構想」を発表しました。富士山麓の豊かな自然環境のもと、クリエイティブ・マインドを持った市民や企業などがデジタル技術やデータの利活用によってまちをリデザインし、あらゆる分野の地域課題を解決する次世代型近未来都市を目指すものです。「市民生活を豊かにし、市民が生きる喜びを実感できるまちの実現」を理念とし、SDCC構想の具現化に取り組んでいます。

※クリエイティブ・マインド：想像力を使って今までの世界にないことを生み出そうとする考え方や心の状態

### ■構想期間／2020（令和2）年～2035（令和17）年（約15年間）



市民生活を豊かにし、市民が生きる喜びを実感できるまちの実現

Susono  
Digital  
Creative  
City

富士山麓の豊かな自然環境のもと、クリエイティブ・マインドを持った市民・企業などがデジタル技術やデータの利活用により、あらゆる分野の地域課題を解決する次世代型近未来都市を目指す



## 9つの取り組みの方向性

- 1 ウーブン・シティ周辺等の整備及び地域との融合
- 2 高付加価値の産業育成・雇用の確保
- 3 誰もが移動しやすい交通環境の整備
- 4 災害に強い地域循環共生圏の形成
- 5 グローバル人材の育成とICT環境の整備
- 6 超高齢社会に対応した健康・医療の推進
- 7 持続可能で稼げる農林業の推進
- 8 富士山麓の「場の力」を活かしたツーリズムの推進
- 9 スマート自治体の推進



SUSONO DIGITAL CREATIVE CITY

SDCC ロゴマーク

## 推進体制

トヨタ自動車株式会社、東京大学、静岡県、国など、産官学の既存の枠組みや制度を生かすとともに、SDCC構想の具現化に向けて市民や参画者との協働・連携による取り組みを推進しています。

昨年7月には、市内外の企業など70社（1月現在）が参加するSDCCコンソーシアムを立ち上げました。参加企業と一緒に「市民のうれしい」を実現するための取り組みを行っています。



## 具現化の取り組み

### 市民課窓口における来庁者実績確認サービス

3密による感染症リスクの軽減や待ち時間緩和のため、無料オンラインサービス「Glide」を使い、市民課窓口の過去の来庁者実績から、時間帯ごとの来庁者数の傾向を可視化しています。



### キャッシュレス化の推進

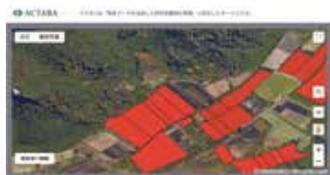
PayPay株式会社と「キャッシュレス化推進に関する包括連携協定」を締結し、新型コロナウイルスで落ち込んだ経済対策のため「がんばる富士山の裾野市！PayPay対象店舗で最大20%戻ってくるキャンペーン！」を昨年11月に実施しました。実施にあたり、市民と事業者向けにセミナーや説明会を開催しました。



市民向けセミナー

### 耕作放棄地自動判定実証実験

衛星画像を使ってAIが耕作放棄地を自動判定するアプリ「ACTABA」を利用し、農地パトロールの負担軽減とアプリの精度の均一化のため、耕作放棄地の自動判定の実証実験を行っています。



### 道路損傷状況のデータ収集

道路の修繕を効率的・効果的に行い、道路の損傷による事故を防止するため、道路損傷検出サービス「My City Report (MCR)」を活用し、道路損傷状況のデータを収集しています。市の公用車や市内を運行するバスにMCRを入れたスマートフォンを搭載し、道路の損傷箇所の検出を行っています。

